

# いきいき かぐらざか

## 東京厚生年金病院 がん診療情報誌



〈れんげ草〉

れんげ草には「心が和らぐ、苦しみを和らげる」という花言葉があります。「みなさんが自分らしく過ごせるように」という意味をこめて情報誌を作成しております。

東京厚生年金病院 がん診療委員会

### 肺癌の個別化治療

呼吸器内科 堀江 美正

みなさんは「個別化治療」という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか。ひとことで言うと「個々の患者さんのがんの特徴を細かく区別してそれぞれに最も適した治療をする」という意味です。これは一見当たり前のことのように思われますが、肺がんの内科領域（抗がん剤治療）においてはつい数年前まで腫瘍は大まかな組織型で分類されるのみで、それに応じた治療はするけれども薬が効くのは3割程度、しかもどの患者さんに効くかは実際治療してみないと予測はできないという今から考えるとなんともふがいない時代が長く続いていたのです。それがここ数年の新薬の開発と検査の進歩とともに薬物の選択基準が大きく変わってきました。



すなわち腫瘍自体が持つ特徴に注目して、肺がんの組織型に加えて遺伝子変異の有無を考慮に入れ治療の標的を決めることで、特に最近の分子標的治療薬といわれるものでは確実に効果が得られる患者さんをはっきりと判別できるようになりました。このように腫瘍を「個別化」することで患者さんの治療効果がある程度予測できるようになり、一番効果が期待できる薬を早いうちに用いたり、効果が期待できない薬は使用しないで余計な副作用が減らせるようになり、治療成績は大きく向上しました。

こうして得られたメリットをもとに肺がんの標準治療法というものが年々更新され、今後もさらなる成績向上をめざして個別化の試みは進んでいくものと思われます。当院ではこのような腫瘍の生物学的な特徴を確実に判断できる組織検査、遺伝子検査を積極的に行い、標準治療にもとづいた最良の薬剤選択を常に心がけております。またそれと同時に大切なのは、腫瘍の特徴は同じでも年齢や体力、基礎疾患、さらには仕事の有無やご家庭の事情など患者さんの治療背景は多種多様で1人として同じ方はいらっしゃらないということです。

こうしたことをきめ細かく配慮して治療することを広い意味での「個別化治療」ととらえて実践していくことが長く治療を続ける秘訣であり、ひいては治療成績の向上につながるものと考えております。そしてそのためには患者さんとの密なコミュニケーションが今後ますます重要になってくるものと思われます。当院では医師のみならず多職種

が関わる相談の場が多数設けてありますので検査や治療でご心配事がありましたら是非ご相談ください。

## 放射線科からのお知らせ

放射線科医長 放射線治療担当 黒崎 弘正

・11月から放射線科では特殊外来として木曜日の午前中に「放射線内用外来」を始めました

放射線治療というと通常は“外照射”を指し、現在当院では毎日約20名の治療を行っております。これはライナックという装置を用いて、外から放射線を当てて、がんを治していくものです。

それに対し、放射線が出る薬を注射もしくは内服させて病気をなくそうというのが放射線内用療法です。現在のところ当院では「ストロンチウム89を用いた骨転移に対する治療」および「甲状腺機能亢進症（バゼドウ病）に対するヨード131治療」を行っております（甲状腺癌に対するヨード131治療は残念ながら今のところ当院では治療できず、ほかの病院を紹介する形となります）。

ストロンチウム89を用いた骨転移の治療は、主に多発性の骨転移の痛みにも効果がありますが、我々の経験では腫瘍マーカーの低下が認められるなど、抗腫瘍効果が得られる患者さんもいらっしゃいます。

病気に対して、ラジオアイソトープを取りこませて選択的に治療できる放射線内用療法は、ある面究極のがんへのミサイル治療でもあります。受診されたい方は地域連携・総合相談センター（電話03-3269-8115）；現在当院を受診されている方は主治医に放射線内用外来受診希望を申し出てください。

・新年度より「陽子線外来」をはじめます

筑波大学腫瘍放射線科・陽子線医学利用研究センターとタイアップして、放射線科では陽子線外来を開設します。今のところ、曜日・時間が未定になっておりますが、次のいきいきかぐらざかで受診方法とともにご案内いたします。

陽子線治療は重粒子線・強度変調照射（IMRT）などの高精度放射線治療の中でも最も線量分布が良くなる事が知られております。

筑波大学は1983年より陽子線治療を行っている、現在日本で行われている陽子線治療施設（7施設）ではもっとも伝統のある施設となっております。当院でも今後IMRTができる放射線治療装置の導入を考えておりますが、よりよい放射線治療を患者さんが選択できるようにしていきたいと考えております。

## がん患者サロン「いきいきかぐらざか」第1回を開催しました！

地域連携・総合相談センター がん相談担当 社会福祉士 太田 英恵

平成24年11月20日（火）に第1回目となるがん患者サロンを開催しました。「院内にもっと患者どうしで情報交換できる場所があればいいのに」という皆さまの声

や、東京都認定がん診療病院の役割の一つの「がん患者・家族が心の悩みや体験を語り合える場を提供する」として企画したものです。

当日はミニ講座として、当院外科の東医師の「抗がん剤のはなし」をテーマに、がんとは何かという基礎的な話でスタートし、随時質問を受け付けながら進めていきました。

初めての開催のため、質問など出ないのではないか？という予想に反して活発なやり取りがあり、予定していた時間を過ぎるほどでした。

和やかに情報交換が行  
われました。  
参加者は10名でした。



休憩をはさみ、テーマとは別に日頃の悩みや気になっている事を話し合いました。一人の質問に、病院職員のみではなく、参加者からも自分がどのような工夫をしているか情報提供があるなど、短い時間でしたが情報交換の場となりました。

参加した方からは、「医師といつもよりゆっくり話が出来て貴重な時間だった」「自分の治療についていろいろ考える機会になった」「定期的にテーマを決めて開催してほしい」など様々な感想を頂きました。

今後、年に数回同じようなサロンを予定しています。詳細はホームページや院内にポスターを掲示いたしますので、「同じ体験をしている方の話を聞いてみたい」「がんについてみんなで話をしてみたい」という方はぜひご参加ください。お待ちしております。

3月16日(土)にがん診療の講演会「最先端のがん診療＝手術・放射線・緩和ケア＝」を当院と筑波大学陽子線医学利用センターの合同で行います(公開講座)

3月16日(土)14:00～16:00に当院第1,2会議室(地下2階)にてがん診療の講演会を開催しますので、奮ってご参加ください。(無料)

演題内容は

- ・ 転移・再発をあきらめない外科治療：当院副病院長 志田晴彦
- ・ 最先端放射線治療：筑波大学陽子線医学利用研究センター長 櫻井英幸
- ・ 東京厚生年金病院における緩和ケアの取り組み：  
当院緩和ケア内科部長 川畑正博

を考えております。

参加希望者はFAX(03-3260-7840)、E-mail: [syomuka@tkn-hosp.gr.jp](mailto:syomuka@tkn-hosp.gr.jp)、はがきのいずれかの方法でご連絡下さい。

## セカンドオピニオンについて

他の医療機関に受診中で、診断や治療方針について他の医師の意見もお求めになりたい方に対して、セカンドオピニオンを行っております。地域連携・総合相談センター又は各科外来（受付時間：平日14時～16時）までお問い合わせください。30分から1時間を予定しております。健康保険は使えませんので1件あたり¥21,000の費用がかかります。

また、当院受診中の方で、他医療機関のセカンドオピニオンをご希望される場合は各科受付又は主治医にお申し出下さい。

## がん相談のご案内

「緩和ケアについて知りたい」「介護や看護の方法で悩んでいる」など、がんに関わる様々な問題、心配ごとについてのご相談に応じています。お気軽にご相談ください。

受付時間：月～金（祝日を除く） 8：30～17：00

担当：地域連携・総合相談センター ソーシャルワーカー

連絡先：Tel 03-3269-8137(直通) msw@tkn-hosp.gr.jp

## 東京厚生年金病院のご案内



### 【診療科】28診療科

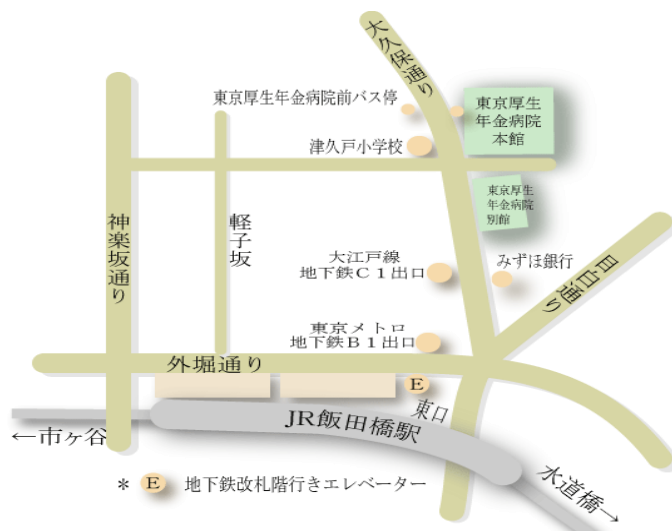
整形外科／形成外科／リハビリテーション科／リウマチ科／外科／脳神経外科／脳神経血管内治療科／内科／消化器内科／循環器内科／呼吸器内科／腎臓内科／糖尿病内分泌内科／血液内科／緩和ケア内科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／小児科／精神科／放射線科／歯科／歯科口腔外科／麻酔科／病理診断科／救急科

【病床数】520床

### 【交通案内】

〒162-8543 東京都新宿区津久戸町5-1

東京厚生年金病院 Tel 03-3269-8111 (代)



- ◆ JR 総武線（中央線各駅停車）  
飯田橋駅東口 徒歩5分
- ◆ 東京メトロ 東西線・有楽町線・南北線  
飯田橋駅（B1出口） 徒歩4分
- ◆ 都営大江戸線  
飯田橋駅（C1出口） 徒歩3分

\*当院に一番近い地下鉄出口「C1」は、都営大江戸線利用の場合のみ便利です。地下鉄で車椅子等でお越しの方は、南北線後楽園駅寄りの改札前にある「地上行きエレベーター」をご利用ください。

発行：東京厚生年金病院 がん診療委員会